

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和7年度高山工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月30日(金) 13:15～15:10
*13:20～13:50 3年生各学科の「卒業生と語る会」の授業を参観
- 3 開催場所 高山工業高等学校 校長室
- 4 参加者
(敬称略)

会 長	桑原加奈子	高山工業高等学校 育友会長
副会長	見山 政克	高山市教育委員会 教育長
委 員	牛丸 勝	高山市立日枝中学校 校長
	松井 健治	高山市立花里小学校 校長
	牛丸 義仁	千島町内会副会長
	中田 和子	高山商工会議所 女性会 会長
	北村 卓也	飛騨木工連合会副理事長
		日進木工株式会社 代表取締役社長
学 校 側	岩島 義則	校長
	渡辺 圭子	教頭
	三田 真弓	事務長
	梶井 真也	教務主任
	高橋 佑介	生徒指導主事
	山下 泰司	進路指導主事
	門前 雅人	工業部長

5 会議の概要

[承認事項]

- (1) 会長、副会長の選出について
委員より承認が得られた。
- (2) 「指導の重点及び学校経営計画」「学校運営機構」「教育課程編成」について
校長より説明。委員より承認が得られた。

[協議事項]

- (1) 「指導の重点と自己評価」について
学校長、及び教務主任、生徒指導主事、進路指導部長、工業部長より説明。
意見1：入試の改革は斬新。入学してから広く工業の分野を1年間学び、その中で生徒自身が適性を考えながら2年生以降の志望の科を決めるとのこと。高山工業高校が変わっていくのを強く感じた。(→教務部)

- 意見2：全学科統一くくり募集について県下の動きはどのようなか。（→教務部）
⇒学ぶ内容が似た分野でくくり募集というのはこれまでもあったが、全学科統一で実施するのは令和8年度募集に導入した本校が初めてである。
- 意見3：生徒の学力評価は就職の際に影響するののか。（→教務部、進路支援部）
⇒大手の中には、目安の評定平均について示される企業がある。また、コミュニケーション能力や元気の良さを高く評価している企業も多い。
- 意見4：授業を見てきたが、皆が真剣に授業に臨んでいた。義務教育でもそうなのだが、取り組みの姿や学習前後の伸びの程度を評価し所見等で示してあげると、どの生徒もさらに意欲的に学べるのではないかと、この頃感じている。（→教務部）
- 意見5：目立たない職務だと思うが、「君の身だしなみは、企業に自信をもって送り出すことができるよ。」と生徒達に伝えながら支援を継続してほしい。（→生徒支援部）
- 意見6：企業としては、場に応じた対応や受け答えができると良いと感じている。スマホ等デジタル社会の弊害なのかもしれないがその能力に欠く人がいるのも事実。リアルな、目の前の人と目を見て対話をする力を育んでほしい。（→生徒支援部）
- 意見7：これから先生方に、就労地域や業種等、進路において幅広い提案をしてもらい、子どもたちの進路決定を先生方に導いていただけたら有難い。（→進路支援部）
- 意見8：職種によっては、コミュニケーション能力や協調性に劣っても、職人としての意識と能力が非常に高く、貴重な戦力になっている社員がいることも先生方にお伝えしたい。（→進路支援部）
- 意見9：新卒で入社した生徒の離職率はどのようなか。（→進路支援部）
⇒世間一般では高卒で50%、大卒は30%が3年以内に離職をすると言われているが、全国の工業高校平均は11%。本校はそれよりは少しだけ高い。課題ととらえている。
- 意見10：平素は市内4中学常設展で、中学生達がレベルの高いものづくり製品に触れることができたり有難く感じている。さらに貴校の良さを知ってもらうために、本日の「卒業生と語る会」の講師の方々のように、生きいきと夢を持って働く貴校卒業生の話を中学生に聞かせたいと思った。（→工業部）
- 意見11：千島町町内会と貴校がコラボして、街づくりができると良い。案があるので、是非協力いただけると有難い。（→工業部）

(2) 「卒業生と語る会」について

- 意見12：このような話は年の近い人でしかできない話。無駄なく分かりやすい話であり、工業高校の大変よい伝統になっている。
- 意見13：聞いている生徒の目が「聞きたい」と思っている目。少し先の先輩たちに未来を見ている気がした。
- 意見14：卒業して数年で現場監督をやっているとのこと。言いにくいことも言わなければならない立場であるが、それができているのは高校から積み上げられた学びの成果だと思う。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において会長、副会長が選出され、「指導の重点及び学校経営計画」「学校運営機構」「教育課程編成」について全委員より承認が得られた。また「指導の重点と自己評価」について頂いた課題や視点は、今後の分掌運営に積極的に活かしていく。

第2回の協議会では「学校運営協議会委員、生徒、保護者アンケート」の分析を行い、中間報告と振り返りを実施。また、それを受けて年度後半の取組について協議する予定である。